

投稿**太陽系外惑星系に名前をつけよう****～気に入った名前に投票しよう！～****臼田-佐藤 功美子（国立天文台）****1. はじめに**

2014年7月から始まった、国際天文学連合（IAU: International Astronomical Union）による太陽系外惑星系命名キャンペーン（Name ExoWorlds contest）[1]もいよいよ最終段階に入りました。当会では、飯塚礼子氏を代表とする「太陽系外惑星命名支援ワーキンググループ（WG）」を結成しました[2]。日本天文協議会・IAU 太陽系外惑星系命名支援WGの中でも当会WGが主体となって、日本語サイト[3][4]をたちあげ、随時必要な情報を提供し続けています。これまで、団体登録の方法[5]や、太陽系外惑星自身等について日本語で紹介してきました。

命名対象となる20の惑星系が2015年3月に発表され、登録団体が6月15日までに名前の提案を行いました。そしてハワイ・ホノルルで開催されたIAU総会中の8月11日夕方（現地時間）、IAU国際普及室のSze-leung Cheung氏のリードのもとにより行われた太陽系外惑星命名のセレモニーとともに、一般投票のサイトがオープンになりました[6]。そこには世界中から寄せられた約230の名前の候補と、その理由が掲載されています。

セレモニー中に、コーネル大学のLisa Kaltenegger氏（図1）が最初の投票を行いました。それを皮切りに、世界中からの投票が始まりました。世界時2015年10月31日23時59分（日本時間で11月1日8時59分）まで投票可能で、結果は11月中旬に発表予定です。

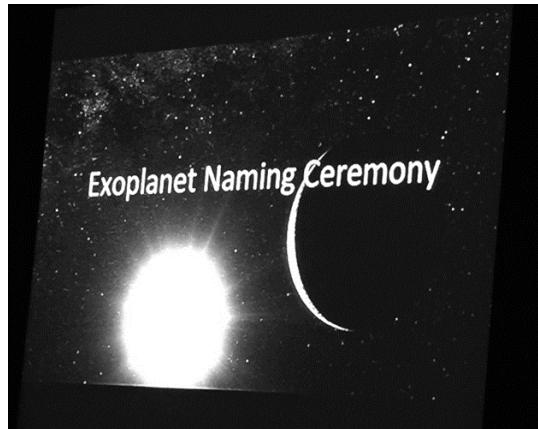


図1 IAU総会でのセレモニーの様子
司会を行っているのがLisa Kaltenegger氏。

2. さあ、投票しよう！

名前を提案するには、団体登録が必要でしたが、一般投票を行うための登録は一切不要です。どなたでも、気が向いた時に投票できます。パソコン、タブレット、スマートフォンといったデバイスから投票できますが、1つのデバイスにつき1回（各惑星系に1回ずつ）の投票となります。1人で複数のデバイスを持っていれば、その数だけ投票できるということになります。ただし、投票を終えてしまうと、重複投票や投票の取り消しができ

ませんのでご注意下さい。

日本語サイト（図2）[3]にて投票に必要な情報を提供しています。「投票する皆さまへ」という見出しの下にある、以下の3項目をご覧下さい。

- 「投票の方法を日本語で紹介」：投票の手順を図付きでわかりやすく紹介しています。
- 「提案グループによる名前紹介ページ」：名前提案を行った日本の登録団体から名前紹介を掲載しています。IAUアウトリーチ日本窓口である、九州大学・山岡均氏に届いた紹介文を随時アップしています。
- 「提案された名前の紹介」：投票ページに掲載された名前候補すべてを日本語にて簡単に紹介しています。英語で書かれた公式投票サイト読む前に、日本語で内容を理解しておくと、名前を選びやすいかもしれません。また、異なる言語、異なる文化的背景を持った世界中の団体からの提案を見るのは、興味深いです。

当WGの日本語でのサポートと広報が功を奏したのか、2015年7月下旬の段階で、全登録団体の28%が日本の団体です。約230の名前候補のうち、約80（約35%）が日本語の名前です。さらに、命名対象となる20の惑星系のうち、7つが日本の研究者が国立天文台岡山天体物理観測所188cm反射望遠鏡や、すばる望遠鏡を使って発見したものです。

IAUが天体の名前を募集して、一般投票を行うのは初めての試みです。世界規模で行われているこの歴史的な（？）キャンペーンに参加しませんか？パソコン、タブレット、またはスマートフォンがあれば誰でも気軽に参加できます。太陽系とは異なる惑星系を想像しながら、お気に入りの名前を選びましょう。



図2 日本語サイト

文 献

- [1] <http://nameexoworlds.iau.org>
- [2] 飯塚礼子・白田-佐藤功美子・大西浩次（2014），天文教育，Vol. 26 No.5 pp.2-3.
- [3] <http://exoplanet.jp>
- [4] 飯塚礼子（2014），天文教育，Vol. 26 No.6 pp.7-8
- [5] 白田-佐藤功美子（2014），天文教育，Vol. 26 No.6 pp.9-24
- [6] http://nameexoworlds.iau.org/exoworlds_vote



白田-佐藤 功美子